

第36回

東北地区本部定期大会開催

8月26日秋田市
内において、コロナ感
染予防を万全にし、秋
田市内在住の組合員

限定でさらに人数を絞
り、不参加の代議員から
は承認を得て、短い時間
での開催としました。



秋本副委員長の開催
挨拶後、佐藤議長を選出
し、執行部を代表して挨拶
に立った小笠原委員長は、「コロナと熱中症、ダブルの危険と隣り合わせの中、日々、安全安定輸送に努めて頂き感謝申し上げます。コロナにより全国民が負担のある生活を1年以上も余儀なくされており、自粛疲れやストレスが相当溜まっている。ワクチン接種も進んでいるが、接種したからといって感染予防を疎かにするとは命を危険に晒す行為である。ブレークスルー感染の心配もあり、家族を守る・職場クラスター発生防止のためにも自らの行動に責任を持ち、引き続き感染予防を徹底して頂きたい。」

会社の状況はコロナの影響を受け、大変厳しい舵取りを強いられるが、大雨被害により山陽本線が不通となり、会社の稼ぎ頭である東京タム福岡タで運休が相次ぎ、さらに厳しい舵取りを余儀なくされている。山陽本線は9月上旬開通見込みであるが、コロナの収束見通しは

全く見えない。先行きが
見えないことで不安は
多くあるが、私達は安全
安定輸送に努め、この難
局を労使が一体となり
打破していかなければ
ならない」と力強く述べ
られました。

続いて、足利書記長より経過報告及び今後の活動方針について一括提案し、質疑では、

- ① ATSPF 区間の故障線
区の復旧期間
- ② E1500機関車の秋田総
鉄運転
- ③ アボイダルコストル
ールの改定
- ④ 交運共済について
- ⑤ 衆議院解散時期、

等々多くの質問が出されました。
執行部による一括答
弁がなされた後、今後の
取り組みを確認し、活動
方針が満場一致で可決
されました。
最後に小笠原委員長
の「団結頑張り」で終
了しました。

人生を渡っていくには、 しっかりした橋が必要です。

長い人生には、病気、交通事故、火災、地震…など、何が待っているかわかりません。
安心できる暮らしの「架け橋」として交運共済が頼りになります。
営利を追求しないぶん、少ない掛金で大きな保障が得られるのが大きな特徴。
しっかりワイドにガードする、交運共済をお役立てください。



みんなで暮らしをガード
交運共済
KOSUN
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

第36回

北海道地区本部定期大会開催

8月21日(土)札幌市内において『第36回地区本部定期大会』を開催しました。吉永書記長の開会挨拶で始まり地区本部を代表して菊地委員長は、はじめに新型コロナウイルス感染症がまん延している中で奮闘している組合員に敬意を表し、大会もコロナウイルス感染防止に細心の注意を払い規模縮小・短時間開催でしつかり意思統一を図るとし、①貨物会社の経営状況②安全の確立③組織強化・拡大④政策課題の4項目について、「JR旅客6社は、コロナ禍により営業収益が大幅に減少した。貨物会社の経営状況は、前年度より大幅な落ち込みとなりましてが、連結・単体ともに経常利益、当期純利益で黒字を確保した。しかし新型コロナウイルスの影響が続く中で、大きな災害が起これば会社の収益に多大な影響を及ぼす。会社の体力はまだまだ脆弱であり、「JR貨物グ

ループ中期経営計画2023」の目標は、今の状況を考慮すれば達成は厳しいと言わざるを得ない。

安全の確立は最重要課題だが、会社発足以降の重大事故の責任と教訓を踏まえ、悲劇を二度と繰り返さない決意を固め働く者の安全確保が、ひいては鉄道全体の安全向上につながる認識に基づき、「安全は絶対に譲らない」という信念のもと、安全最優先の職場をつくらなければならない。

組織拡大については、組織は衰退の一途を辿り組織全体でこの問題に取り組み、他労組組合員を貨物鉄産労に結集をさせ、民主化闘争完遂に向け全組合員が邁進していかなければならない。

簡単ではないが地区本部を先頭に全組合員が組織拡大を意識して行動していかなければならない。新人事制度となり評価制度が導入されたが、公正公平な評価が出てくるのか、注視をしていく。合わせて、シニア社員としての働き方など、しつかり

と働き続けられる条件作りに向けても取り組んでいかなければならない。

政策について、現在のコロナ感染症の収束時期を見通すことができない中で、中期経営計画の見直しを迫られる可能性もあり動向を注視する必要がある。感染症拡大防止のため、生活スタイルには変化が生じ、コロナが収束しても生活スタイルが元に戻るかは不透明だが、JR産業を取り巻く環境は大きく変化することが想定される。社会のさまざまな変化を客観的に把握し、課題を洗い出し、実効的な対応をJR連合と共に検討していく。来年3月末には、JR二島・貨物会社の経営を支える重要な税制特例措置が適用期限切れを迎えるが、予算の確保や税制改正に関する要望実現に向けて、関係各方面への必要な対応をJR連合と共に行っていく。

最後に次期衆議院解散・総選挙への対応については、任期満了となる本年秋までに必ず衆議院解散・総選挙が実施される。不測の事態に陥ることのないように取り組んでい



菊地委員長

くこととする。と挨拶がありました。その後、小森執行委員より祝電・メッセージ披露のあと、執行部より2020年度経過報告、協約・協定締結承認、2021年度運動方針(案)が提案され、質疑に入りました。

おもな意見として「シニア社員における課題」「新人事賃金制度について」「退職年齢の延長について」「コロナ禍の対策」について「出向先の労働条件について」「などの発言に対して、吉永書記長が集約回答をおこない2021年度運動方針は満場一致で承認されました。その後、役員改選を行い新執行部が確立し、大会宣言(案)を読み上げ、満場一致の拍手をもって採択されました。



吉永書記長

最後に、菊地委員長による団結ガンバローで定期大会を終了しました。

人も保障も、
頼りがいがあると
安心できます。



マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

セット加入でパワフル補償